

# 焼き板

自然素材を使い、手づくりのよさや作る喜びを感じるとともに、研修の思い出となる作品を制作します。

場所	1～4号研修室	対象	小学生以上
所要時間	2～2.5時間	人数	10～50名程度
時期	全シーズン	天候	制限なし
指導	職員指導あり ※着火まで	提出書類	教材注文票
経費	300円/セット（杉板、ヒートン、ひも） ガスボンベ：250円/本（5人で1本が目安）		



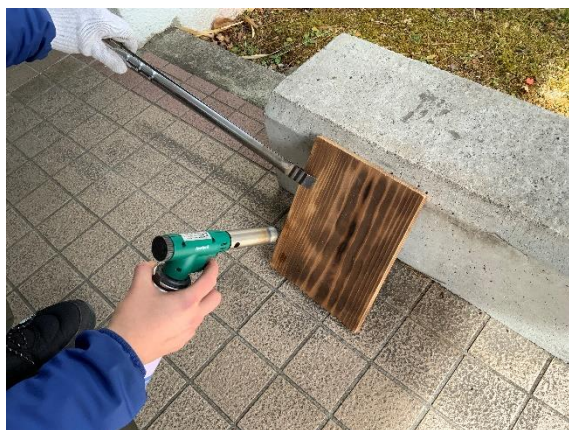
活動の教育的効果	<p>(1) 絵を描くことにより、創造性を養うことができる。</p> <p>(2) ガスバーナー等の器具の取り扱いを学ぶことができる。</p> <p>(3) 完成品が形として残るので、研修の思い出になる。</p>
準備するもの	団体が準備するもの
	<p><input type="checkbox"/>個人：ポスカ、軍手</p> <p>※絵の具を使用することも可能。その際は絵の具セットを持参する。</p> <p>※絵の具の代わりに水性ペンでも可能</p> <p><input type="checkbox"/>団体：新聞紙、雑巾、材料板（教材注文票で注文し、食堂にて受取）、ガスボンベ（食堂にて販売有）、彫刻刀（必要に応じて）</p>
	交流の家が貸し出すもの
	<p><input type="checkbox"/>たわし <input type="checkbox"/>火ばさみ <input type="checkbox"/>きり <input type="checkbox"/>バーナーヘッド</p>
備考	<p><input type="checkbox"/>作り方はホームページよりダウンロードが可能。</p> <p><input type="checkbox"/>人数が多い場合は、富士ピロティで説明や磨く作業を行うことがある。また、団体的人数が多い場合には、調整の段階でローテーションを組んで実施することがある。その場合は、全員がガスバーナーで焼き終えるまでに待ち時間が生じるため、その間の過ごし方を事前に計画しておくが良い（デザインを考える等）。</p>

特別な施設での活動

活動の流れ

# 焼き板

	時間	項目	内容	備考
活動内容 (手順)	15分	準備	□食堂で材料を受け取る。	
	90~120分	焼き板 作成	□職員による焼き板作成の説明を受ける。 □ガスバーナーで焦げ目がつくまで焼く。 □焼いた板をたわし、雑巾の順番で磨く。 □色をつけるための下書きをする。 □ポスカ等で字や絵を描く。 (新聞を敷き、机にポスカが付かないようにする) □きりで穴を開けヒートンを固定し、ひもを通す。	バーナー使用時は引率者が必要。
	15分	片付け	□新聞紙等のゴミを掃除する。	
	15分	発表	□作成した焼き板をクラス等で発表する。	
	想定される リスク	□けが（板のとげが刺さる、のこぎり、きり、彫刻刀での裂傷） □やけど（ガスバーナー、焼いた直後の板） □ガス中毒（ガスバーナーのガスを吸い込む） □ガスボンベへの引火、爆発		
指導の バリエーション	□かまどの火で板を焼くこともできる（ガスバーナーを使用しないで焼く）。 □焼く前に、のこぎりで好きな形に切ったり、彫刻刀で彫ったりすることもできる。			



ガスバーナーで焼く。  
※ガスバーナーを持つ手は素手。



たわしと雑巾ですすを落とす。

特別な施設での活動